

アジャイル開発の勘違い

永和システムマネジメント
天野 勝



今日のお話

- アジャイル開発の勘違い
 - よくある勘違いと、その真実をご紹介します
- アジャイル開発導入の手引き
 - 弊社のアジャイル開発に対する取り組みをご紹介します

自己紹介

- (株)永和システムマネジメント
 - 金融、医療、オープンシステムの開発
 - 本社: 福井県福井市
 - 支社: 東京都港区芝浦
- 天野勝
 - サービスプロバイディング事業部
教育・コンサルティング部 部長
 - オブジェクト指向設計、アジャイル開発プロセス
導入のコンサルティングに従事
 - 雑誌「日経ソフトウェア」「PM Magazine」などに
多数寄稿

アジャイル開発の勘違い

ドキュメントを作らない

- 勘違い
 - ドキュメントを作らない
 - プログラムがドキュメントである
- 真実
 - 不要なドキュメントは作らない
 - ドキュメントを作る前に、何のためのドキュメント
化、どうして必要なのかを考える
 - ドキュメントよりも、動作するソフトウェアを重視する
 - プログラムもドキュメントである

設計をしない

- 勘違い
 - 設計をしないで、プログラミングを行う
- 真実
 - 過剰な設計はしない
 - 抽象度の高いプログラミング言語や、効率的な
開発環境で、詳細な設計時間を短縮
 - 効果的な設計を素早くできるように、教育に力を入
れる

短期開発に向いている

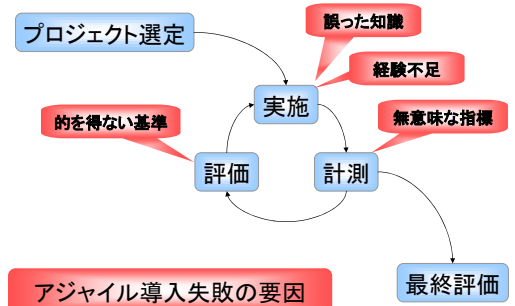
- 勘違い
 - 短期間の開発にはアジャイル開発に向いている
 - 長期の開発には向いていない
- 真実
 - 短期間過ぎる開発には向いていない
 - 早い段階で、最小限の機能の動作するソフトウェアをリリースする
 - 長く続けることで、大きなソフトウェアに成長させる
 - 絶えず、保守し続ける

リファクタリングならば品質低下しない

- 勘違い
 - ユニットテストコードがあるから、リファクタリングしても品質は低下しない
- 真実
 - 品質が低下する可能性がある
 - テスト駆動開発のテストコードは、開発を駆動するためのテストコードであり、品質保証のためのテストコードとしては不十分な場合がある
 - パフォーマンスが劣化する可能性がある

アジャイル開発導入の手引き

アジャイル導入の典型例



弊社サービス

- セミナー
 - 必要最低限の知識を補います
- メンタリング
 - 一緒にプロジェクト活動に参加し、経験に基づいた指導をします
- コンサルティング
 - 第三者の視点で、客観的にプロジェクトを評価し、改善策を一緒に考えます
- お問い合わせ
 - sales@esm.co.jp

参考資料

参考URL

- 永和システムマネジメント
 - <http://www.esm.co.jp/>
- PO²D教育サービス
 - <http://po2d.esm.co.jp/>
- オブジェクト倶楽部
 - <http://www.ObjectClub.jp/>
- アジャイル勘違い集
 - http://www.ObjectClub.jp/technicaldoc/xp/agile_misunderstanding
- プロジェクトファシリテーション
 - <http://www.ObjectClub.jp/community/pf/>